

【目次】

第1部 日本における社会保障制度の変容

- 第1章 保健・医療・福祉制度の変容
 - I はじめに
 - II 利用者負担増
 - III 病院・施設から在宅へ、自立支援、地方分権
 - IV おわりに
- 第2章 介護保険制度改革の最近の動向
 - I はじめに
 - II 予防重視型・要介護度悪化防止型システムへの転換
 - III 市町村への権限移譲、地域共生社会の実現
 - IV おわりに
- 第3章 社会保障の変容と荒木理論の現代的意義
 - I はじめに
 - II 荒木理論の概要
 - III 荒木理論の基本的スタンス
 - IV 最近の社会保障制度改革の動きと荒木理論
 - V おわりに

第2部 「我が事・丸ごと」地域共生社会

- 第1章 「我が事・丸ごと」地域共生社会と社会保障法
 - I はじめに
 - II 通説的な社会保障の定義
 - III 「自律」重視型の社会保障の新しい定義
 - IV 「地域」という単位の意味
 - V おわりに
- 第2章 地域包括ケアシステム、「我が事・丸ごと」地域共生社会、社会保障法学の学問的範囲
 - I はじめに
 - II 地域包括ケアシステム、「我が事・丸ごと」地域共生社会
 - III 社会保障法学の学問的範囲
 - IV おわりに

第3部 社会福祉法人、福祉事務所の改革

- 第1章 社会福祉法人改革
 - I はじめに
 - II 社会福祉法人制度の創設と社会福祉法
 - III 社会福祉法人制度改革と社会福祉法人制度の展望
 - IV おわりに
- 第2章 福祉事務所の民間委託・非正規職員化
 - I はじめに
 - II 福祉事務所の組織とケースワーカーの業務
 - III 生活保護ケースワーク業務の外部委託
 - IV ケースワーカーの非正規職員化
 - V おわりに

第4部 新型コロナウイルス感染症の長期化と新たな社会保障政策

- 第1章 コロナ感染症被害の長期化と新たな所得保障政策
 - I はじめに
 - II ベーシック・インカムの考え方
 - III ベーシック・インカム賛成論と反対論
 - IV コロナ感染被害の長期化とベーシック・インカムの再燃
 - V 社会保障基礎理論とベーシック・インカム
 - VI おわりに
- 第2章 高齢者・障害者の所得保障とベーシック・インカム
 - I はじめに
 - II 新型コロナウイルス感染症拡大とベーシック・インカム (BI)
 - III ベーシック・インカムの登場する背景
 - IV ベーシック・インカムの限界
 - V 労働とベーシック・インカム
 - VI 高齢者・障害者のための所得補完型ベーシック・インカムの導入
 - VII おわりに
- 第3章 アフターコロナのベーシック・インカム論
 - I はじめに
 - II ベーシック・インカム、その内容、背景、考察の視点
 - III ベーシック・インカムの「目的」をめぐって
 - IV 新型コロナウイルス感染症対策とベーシック・インカム
 - V おわりに
- 第4章 コロナ感染症拡大を受けての特例措置と社会保障法
 - I はじめに
 - II 「医療保障論」と「生活障害給付」
 - III 予防と社会保険
 - IV 予防推進のためのインセンティブ・ディスインセンティブ
 - V コロナ対策と行動規制、病床確保
 - VI 所得保障分野での特例措置
 - VII 新型コロナウイルス感染症拡大によって明確になった社会保障法上の課題
 - VIII おわりに

経歴・研究業績・社会活動